

さくらプランニング

保存版

発行者：庄原市中本町 2-5-6 市民交流サロンラッキー内
観光ワークショップ さくらプランニング
代表者：後藤宏治
TEL0824-72-0075
2005年6月1日発行

さくらプランニングとは

「これぞ庄原」「庄原百選」決定する!

私たちさくらプランニングは平成十五年に庄原のまちなかに賑わいを創出しよと募集された、市民活動活性化ワークショップの一つで、観光の面から賑わいを創出しようとメンバーが集まったワークショップです。

昨年十一月から募集して「庄原百選」が決定したのでお知らせいたします。

この度は、一般に公募した百選の候補は応募総数二二〇件・一六七の素材が集まりました。「庄原」と言えば「これー!」「庄原に行くならここを見たい」というものを見事にさくらプランニングが選定を行い、この度、正式に「庄原百選」が決定したというわけです。

この地域は千ばつや水害の多い事から、一六四六年につくられた、一六七五年に増築されている巨大なため池。池には人柱となった国さん兼さんの悲しい、いい伝えが残っています。

平成七年にオープンした中国地方唯一の国営公園。テーマは体験・遊びで里山の農家を再現した里山屋敷や大型遊具・大芝生広場・グラウンドゴルフ場・花の広場と一年を通じて楽しめる公園です。

春夏秋冬と一年を通じて楽しむことのできる風景。眼下には小和池があり、その周りの田園風景はまさに庄原ありのままの景色ではないでしゅか。おすめは初夏のみどりの風景と秋の稲穂です。庄原の情報発信の拠点となるゆめさくらには多くの方が訪れておられ、中でもデッキからの写真を撮られる方は数多くおられます。

形を形としており、エジプトのピラミッドよりも古くに造られたといわれています。拝殿ではないかと言われている鬼叫山にある巨石群は太古の神秘を感じます。また、この周辺ではUFOと思われる未確認飛行物体が何件も目撃されています。

明治十三年に国立の種牛牧場として創設され、現在は広島県畜産技術センターとなっています。四季折々に美しい風景があり、アマチュア写真家の必撮ポイントになっています。

平成一三年にオープンした簡易保険総合センター。天然温泉につかりながら、庄原のやまなみを眺めるのは最高です。星空を見ながらの露天風呂も良。

西城川と山に囲まれた一軒宿。温泉と春は山菜料理・夏は鮎・秋はきのこ・冬はイノシシと郷土料理も楽しめます。

オートキャンプ場としてトップクラスの人気。ハイシーズンには予約が難しいとか。...

下半身のあらゆる病気を治してくれると言われている、日本全国から多くの人が訪れる庄原の隠れた名所。

山頂より庄原一帯が一望できます。青影城という城山で標高は五五〇mあります。景色がとても良く、山頂から眺める風景は最高です。

花ひとつひとつも美しいですが、少し離れたところから眺めるのはまた格別です。一木一寸そば屋もおばさん達の笑顔と愛情たっぷり大好き。おすすすめです!

秋になると紅葉して美しい。落ち葉も黄色いじゅつたんを敷いたようになって見事!

古い町屋のたたずまいが良い。昨年実施された七夕祭りも浴衣の着る事ができる機会ができて良かったと思えます。

やっぱ庄原といえはこれ、という印象深い風景。昨年の台風十八号で倒れましたが、ライオンスクラブさんの力で再び植樹されています。

イチョウの大きさが紅葉の時期になると山内駅とマッチして、非常にきれいです。

庄原市街地にある路地。倉田百三の生誕地から胸像のある場所へ抜けることができて、狭いので思わずあいさつをしまします。「ミニニケーション」があるふるふる路地です。

宝蔵寺の境内から丑寅神社の参道を歩くと趣があります。宝蔵寺のやや西城より首のある首なし地蔵があります。話では昔、結婚式をする家に地域の若い者が地蔵さんを担いで行っていたらしい。家では地蔵さんを置いて帰られては困るので、お酒を振舞って地蔵さんを持って帰ってもらっていたらしく、その時、お地蔵さんを落として首が取れたのでは。...

峰田町から高門町へ抜ける市道白鳥線の丘から見える夕日。庄原のまぢや、やまなみが見え、夕日がきれいである新しい観光資源。

新庄町・高南小学校ではホタルの幼虫を放流してホタルを増やす取り組みを行っています。本村川水系や西城川水系でも自然のホタルが見られます。

静かな池のほとりに篠津原城跡、中世の館跡が数多く残っています。

春は菜の花・チューリップ・ポピー・秋はなんと言ってもコスモスです。ライトアップされたコスモスは幻想的。

地元の人々が自分の家に植えた花桃があまりにもきれいなので、近所の人にも広がりまして。本村町の国道庄原東城線沿いは桃色街道が名乗るぐらいい花桃が植えられ、花の時期にはきれいに咲いています。

西本町にある教会の建物。木のあたたかさが、とても良いです。地元の木を活かしたこんな建物ももっと増えるといいな。

現在「電気の倉庫」になっていますが、往時の雰囲気を感じて残っています。

芸藩通史にも載っている古くからの名勝・信仰の場。夏、汗をかきながらふもとから登り、滝の下の涼しさは最高!

峰田町と総領町の間にあります。最近までは地元の人しか知らなかった。でも調べてみると芸藩通史に載っていました。昔は病気の人がこもるお堂があったとか。古くて新しい観光資源。

山内町日吉神社にある国の重要文化財に指定されている鏡。四〇〇年以上経っているというのに、色あせないでいる。

江戸時代に庄原地方の代官であった頼杏坪が飢きんに備えて、柿の木を植えることを奨励し、文政二年から植え始めた柿の木は樹齢一八〇年を越えて、子だけでも三千本にもなり、現在も実を結んでいるものが残っている。

歴史跡。横穴式石室を持つ前方後円墳。石室の規模は東北では最大。

本堂と本堂内にある厨子は国の重文に指定されている。本堂の天井に描かれている龍は雪舟が描いたものといわれ、雪舟の筆跡といわれています。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

本村町から国兼池までひかれた用水。サイホン式で水を上げる場所もある。ガイドを聞きながら取水地から歩いてみるのも面白いかも。...

シラカシの純林とコケの群落がある。田んぼの中にこんなところとした神社の森があつて、T.T.Oの住んでいる森のようです。県天然記念物。

一八二二年に日吉神社において代官頼杏坪が開催した敬老会の様子を描いた絵。明治時代の教科書にものっていた有名な図。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。



さくらプランニング後藤宏治座長

私たちのモットーは「できる事からとにかくやってみよう!」でとにかく楽しく、自分たちのやりたい事の実現をしています。「こんな事がやってみたい」というアイデアをお持ちの方、まちなかの賑わいづくりに興味のある方、是非、さくらプランニングに参加してみませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

「庄原百選」とは旧庄原市内にある素晴らしい資源(場所・イベント・風物・風習・人物等)を百件集めて、大々的にPRしていくというもので、この事業は国営備北丘陵公園と連携した「庄原まちなか活性化調査」の一環として、庄原市と庄原市観光協会、まちなか会議と共催で実施しているものです。

この度、一般に公募した百選の候補は応募総数二二〇件・一六七の素材が集まりました。「庄原」と言えば「これー!」「庄原に行くならここを見たい」というものを見事にさくらプランニングが選定を行い、この度、正式に「庄原百選」が決定したというわけです。

春夏秋冬と一年を通じて楽しむことのできる風景。眼下には小和池があり、その周りの田園風景はまさに庄原ありのままの景色ではないでしゅか。おすめは初夏のみどりの風景と秋の稲穂です。庄原の情報発信の拠点となるゆめさくらには多くの方が訪れておられ、中でもデッキからの写真を撮られる方は数多くおられます。

形を形としており、エジプトのピラミッドよりも古くに造られたといわれています。拝殿ではないかと言われている鬼叫山にある巨石群は太古の神秘を感じます。また、この周辺ではUFOと思われる未確認飛行物体が何件も目撃されています。

明治十三年に国立の種牛牧場として創設され、現在は広島県畜産技術センターとなっています。四季折々に美しい風景があり、アマチュア写真家の必撮ポイントになっています。

平成一三年にオープンした簡易保険総合センター。天然温泉につかりながら、庄原のやまなみを眺めるのは最高です。星空を見ながらの露天風呂も良。

西城川と山に囲まれた一軒宿。温泉と春は山菜料理・夏は鮎・秋はきのこ・冬はイノシシと郷土料理も楽しめます。

オートキャンプ場としてトップクラスの人気。ハイシーズンには予約が難しいとか。...

下半身のあらゆる病気を治してくれると言われている、日本全国から多くの人が訪れる庄原の隠れた名所。

山頂より庄原一帯が一望できます。青影城という城山で標高は五五〇mあります。景色がとても良く、山頂から眺める風景は最高です。

花ひとつひとつも美しいですが、少し離れたところから眺めるのはまた格別です。一木一寸そば屋もおばさん達の笑顔と愛情たっぷり大好き。おすすすめです!

秋になると紅葉して美しい。落ち葉も黄色いじゅつたんを敷いたようになって見事!

古い町屋のたたずまいが良い。昨年実施された七夕祭りも浴衣の着る事ができる機会ができて良かったと思えます。

やっぱ庄原といえはこれ、という印象深い風景。昨年の台風十八号で倒れましたが、ライオンスクラブさんの力で再び植樹されています。

イチョウの大きさが紅葉の時期になると山内駅とマッチして、非常にきれいです。

庄原市街地にある路地。倉田百三の生誕地から胸像のある場所へ抜けることができて、狭いので思わずあいさつをしまします。「ミニニケーション」があるふるふる路地です。

宝蔵寺の境内から丑寅神社の参道を歩くと趣があります。宝蔵寺のやや西城より首のある首なし地蔵があります。話では昔、結婚式をする家に地域の若い者が地蔵さんを担いで行っていたらしい。家では地蔵さんを置いて帰られては困るので、お酒を振舞って地蔵さんを持って帰ってもらっていたらしく、その時、お地蔵さんを落として首が取れたのでは。...

峰田町から高門町へ抜ける市道白鳥線の丘から見える夕日。庄原のまぢや、やまなみが見え、夕日がきれいである新しい観光資源。

新庄町・高南小学校ではホタルの幼虫を放流してホタルを増やす取り組みを行っています。本村川水系や西城川水系でも自然のホタルが見られます。

静かな池のほとりに篠津原城跡、中世の館跡が数多く残っています。

春は菜の花・チューリップ・ポピー・秋はなんと言ってもコスモスです。ライトアップされたコスモスは幻想的。

地元の人々が自分の家に植えた花桃があまりにもきれいなので、近所の人にも広がりまして。本村町の国道庄原東城線沿いは桃色街道が名乗るぐらいい花桃が植えられ、花の時期にはきれいに咲いています。

西本町にある教会の建物。木のあたたかさが、とても良いです。地元の木を活かしたこんな建物ももっと増えるといいな。

現在「電気の倉庫」になっていますが、往時の雰囲気を感じて残っています。

芸藩通史にも載っている古くからの名勝・信仰の場。夏、汗をかきながらふもとから登り、滝の下の涼しさは最高!

峰田町と総領町の間にあります。最近までは地元の人しか知らなかった。でも調べてみると芸藩通史に載っていました。昔は病気の人がこもるお堂があったとか。古くて新しい観光資源。

山内町日吉神社にある国の重要文化財に指定されている鏡。四〇〇年以上経っているというのに、色あせないでいる。

江戸時代に庄原地方の代官であった頼杏坪が飢きんに備えて、柿の木を植えることを奨励し、文政二年から植え始めた柿の木は樹齢一八〇年を越えて、子だけでも三千本にもなり、現在も実を結んでいるものが残っている。

歴史跡。横穴式石室を持つ前方後円墳。石室の規模は東北では最大。

本堂と本堂内にある厨子は国の重文に指定されている。本堂の天井に描かれている龍は雪舟が描いたものといわれ、雪舟の筆跡といわれています。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

山門にある仁王像は素朴さの中に力強さがあります。本尊の観音様は十七年三三三年ごとにしか開帳されません。県重文。

さくらプランニング
スタッフ募集中!!
こんな事がやってみたい!
あんな事がやってみたい!
やる気とアイデアのある方
お待ちしております!!

興味のある方は・・・市民交流サロンラッキー電話 0824-72-0075 まで

裏面へつづく

歴史文化・民俗風習のつづき

■三九「三上神楽」

神職のみによつて舞われる神楽。庄原市内の神社の例祭日に舞われます。県無形民俗文化財。

■四〇「山内衛上断層」(山内町)

国の天然記念物に指定されている。断層面に添って上盤がすりあがったものを逆断層というが、中でも急なものを衝上断層といいます。

■四一「昔話」

庄原にはまんが日本むかし話にも出てきた円通寺の龍の話のほか、火村さん・永明寺のネコなど、興味深いお話がたくさんあります。

■四二「厄流し」

毎年七月三十一日に西城川の車橋付近で行われる厄流しの行事。江戸時代から二五〇年続く珍しい行事です。

■四三「庄原弁」

たえがたいことです！(ありがたいことです。おしまいです！(こんばんは)方言はその地方の文化だし、味がある！

■四四「早駆け馬」

四月の第三日曜日に開催される祭。厄子軍との合戦勝利を知らせに帰った「早駆け」にちなむそうです。

■四五「民謡あつもりさ」

源平合戦の一の谷の合戦に、平家の無官の太夫敦盛は十六歳で亡くなりました。敦盛には十五歳の玉織姫という妻がありました。玉織姫は逃げ逃れて、平家ゆかりの地永江の庄(庄原の地)に隠れ住んだというのが、この唄の骨子。玉織姫が庄原に逃れたのは疑問ですが、敦盛の悲劇を唄った哀愁を帯びた門付け唄が庄原地方に残っていました。それを現代風にアレンジしたものがあつもりさんです。市無形文化財

人・団体

■四六「倉田百三」

庄原の著名人といえばこの人。知らない人も多いでしょうが、郷土の作家の作品を讀んではいかがでしょうか？

伊達金三郎は高に生まれ、石見銀山の代官戸平左衛門の手代として享保の飢饉のときに薩摩から薩摩芋を持ち帰り石見の国の飢民救済につくしたそうです。

■四七「伊達金三郎」

森のバイオマス研究会は行政や業界主導ではなく、市民の環境意識から発足した会で、今年の「ひろしま環境賞」受賞団体で全国的にも有名な団体となっています。

■四八「森のバイオマス研究会」

森のバイオマス研究会は行政や業界主導ではなく、市民の環境意識から発足した会で、今年の「ひろしま環境賞」受賞団体で全国的にも有名な団体となっています。

巨樹・珍木

■四九「川北矢の原の大柿(川北町)」

川北町の田園の中にある柿の古木。四季を通じて撮影スポットになっている。土地の人たちが満ちて、水路の草刈りの後、木の下で水神祭を行う。荒神さんの祠も祭られており、樹齢三三〇年といわれている。

■五〇「蘇羅比古神社の大杉(本村町)」

蘇羅比古神社は郷社にして彦火火出見命を祀る神社。参道の二本の大杉は周囲五m以上あり、見事です。

■五一「横目堂のイチイ(川西町)」

イチイの木は中国山地に自生し、県北では庭園木として植栽する習慣がある。横目堂のイチイは県下でも最大級の大きさらしい。県天然記念物。

■五二「シラカシの大コブ(川北町)」

川北町の八幡神社の裏山にあるシラカシの大コブ。なかなかの迫力と大いにヨロコブで縁起がいいとか。...

■五三「信用金庫前大ケヤキ(西本町)」

信用金庫向いにある大ケヤキは庄原のまちのシンボルといっても過言ではないのでは。...

桜

■五四「上野公園の桜」

日本さくら会選定のさくら名所百選の地。上野池に映る夜桜は西日本一と言われています。病害虫等で花が少なくなっていた弁天島の区域を平成十六年から二年で市民の募金によって再生工事が実施されました。再生された桜がどんどん育ってきれいに花が咲く姿が楽しめます。

■五五「藤木の桜」(西本町)

市民会館の横にあるエドヒガン樹齢二五〇年以上で市天然記念物。ライトアップされた夜桜はとてもきれいです。

■五六「足羽家のしだれ桜(本村町)」

本村川左岸の丘の上にある樹齢約八〇年のしだれ桜。...

■五七「栗ヶ段の桜(水越町)」

水越町栗ヶ段地区にある桜。静かな集落の中に立つ姿は見事。

■五八「横川の山桜(川北町)」

川北町の比和町境比和川右岸にある山桜。山の緑に映えて美しい。

■五九「実留本村川河岸の桜(本村町)

本村川左岸に植えられている桜並木は満開の時にはとても美しい。

■六〇「龍福寺の桜(小用町)」

小用町龍福寺にある桜。夕日に映えてとても美しい桜です。墓地への立ち入りや木の根元に入らないよう注意。

■六一「奥田家の山桜板橋町」

県道六一号線と県大通りの交差点からみることできる山桜。知る人ぞ知るところ。毎年近所の人たちが花見をするポイント。花見のたびにこの桜をいつかクローズアップさせようという話になるそうです。

■六二「総合体育館付近芸術線沿いの桜並木(西本町)」

総合体育館から芸術線沿いに四三二号線への歩道沿いに植えられた桜並木。散歩しながら見るとなかなかのもの。...

食

■六三「JA庄原特産 広島菜漬」

塩分控えめ、添加物のない広島菜漬。安心、安全。あたたかいご飯にこれがあれば、何も言うことはありません。

■六四「山菜」

庄原では山菜がいろいろ取れます。食彩館しようばらゆめさくらの朝取り市でも販売しています。一覽表と調理法があればいいですね。

■六五「ニナ(川二ナ)」

ホタルの幼虫のえさとなる川二ナは庄原では西城川や比和川等で採れます。夏の夜、川二ナを食へながらビールを飲むのは格別です。

■六六「一本一寸そば」

地元一木で作ったそばを地元の人が加工し、提供するそばは美味しい上に、安心安全です。

■六七「備後名物 乳団子」

一〇〇年以上の歴史を重ね、今では庄原産のお土産といえよコシという存在です。土産にこれを持っていくと必ず喜ばれます。

■六八「ワ料理」

昔は交通事情が悪く、海から遠い庄原では魚の刺身が食へられなかったそうです。サメは腐りにくいので、庄原でも刺身で食へられるというところで、盆や祭には食へていたそうです。今でも市内のスーパードで切り身を販売していたり、回転寿司屋さんにメニューとしてあるほどです。

■六九「ナバ」

庄原ではきのこのことを「ナバ」といいます。きのこの狩りのことは「ナバコギ」といいます。まつたけ・こうたけ・しめじ・くろこつこう等美味しいナバがいっぱいあります。

川魚(鮎)

海から遠い庄原では大切なたんばく源。川魚は独特のにおいがあって嫌いという人もいますが、鮎をほじめ、干しギギウウ・寒バエの甘露煮・鯉こく・鯉のあらいなど川魚も美味しいのです。特に庄原の比和川・西城川の鮎はブランドでした！

■七一「比婆牛」

ブランド名として比婆牛というのを使えないらしいが、優良な血統としてあずま蔓といわれ、今でも庄原の牛肉と言えは比婆牛が有名です。

■七十二朝どりの市(靑空市場)

食彩館しようばらゆめさくらにある農産物直売所。農家が自信を持って販売する野菜は安全でうまい！その他靑空市場は市内の山内・一木・峰田・濁川等にある。地元の新鮮野菜が手に入る。季節によってはこちらにしかない珍しい食材も...

■七三「庄原観光りんご園」

庄原唯一の観光りんご園。ふじ等七種類のりんごがある。九月上旬〜十一月まで全です。

■七四「地酒」

水が良く、米処である庄原は美味しい地酒があります。市内には二社の酒造メーカーがあります。その他にも桑の実ワイン・一木一寸そば焼酎などもあります。

行事・イベント

■七五「上野公園の夏祭り花火大会」

毎年八月の第四日曜日に開催される花火大会。上野池の湖面に映る花火はとても美しい。メッセージを讀んでもらえ、自分の花火が打ち上げてもらえる「みんなの花火」もあります。

■七六「国営公園の夏のコンサート」

いつもは静かな庄原ですが、この時は有名なアーティストが訪れ二万人を超える人が集り、にぎやかになる。ミスチルの桜井氏が今まで

のライブで庄原が最高だったと言っているほど、雰囲気の良い野外ライブ会場なのです。

■七七「国営備北丘陵公園のイルミネーション」

十二月に国営備北丘陵公園で開催されるイルミネーション。年々規模が拡大されている。星の美しい地域なので、イルミネーションと星空と両方楽しめます。

■七八「国営備北丘陵公園の花火」

普通花火大会は夏ですがこの花火大会は秋のコスモスの開花にあわせ開催されます。(十月初旬)ライトアップされたコスモスをバックに打ち上げられる花火はとても幻想的です。

■七九「九日市」

毎月九日に庄原市街地で開催される市。昔庄原のまちでは九日に市が立っていたことにちなみ、開催されはじめました。現在では食・手仕事・レトロ市など多くのものが集まり、十時〜売り切れ御免で開催中！

■八〇「庄原よいとこ祭」

毎年八月の第四日曜日とその前日に開催される祭。パレードを中心に普段の顔でない庄原の顔を味わえます。

■八一「市街地イルミネーション」

国営備北丘陵公園イルミネーションの開催に合わせ市街地でも上野公園ライトアップ作戦・市役所前イルミネーション等で飾られます。

■八二「庄原スター式駅伝」

昭和一九年の合併前に旧七町村を星型に結び健脚を競ったのがはじまり。五〇回を超える歴史ある庄原のスポーツイベント。

■八三「子どもミュージカル」

子どもたちが主役のミュージカル。子どもたちの演技に感動！

こだわりのお店等

■八四「生活や」(宮内町)

庄原にはない雰囲気のおしゃれな雑貨店。ついつい買ってしまいます。

■八五「実留酒類醤油所造醸造」(実留町)

麹から製造している味噌醤油は抜群の味。

自然・動植物

■八六「貴重な生物」

庄原は生態系がこわれないうちに残っているので、オオサシヨウウオやモリアオガエルなど貴重な生物があり、自然の営みが残っています。

■八七「自然」(里山・空気が)

良くも悪くも自然がいっぱい。良いほうが多いし、癒してくれるのは自然。庄原には里山があり、険しい山と遠い人の暮らしに利用され、人に恵みを与えてくれる。人も車も少ないので空気がきれいで、緑もくっきり、星もたくさん見えるし、四季の感覚が都会ではなくなりつつあるが、庄原は三月月ごとに季節がはつきり変わる地域です。

■八八「西城川」

西城川を源流に江の川へ流れ、日本海へ注ぎます。西城川はとうとうと流れ、文豪倉田百三も幼少期より宗教的恋人として愛してやまなかつたといわれています。

■八九「勝光山の鮎床」(川北町)

露天掘りで掘り出されるロウセキは大正・昭和と庄原の町を支えていました。

その他

■九〇「ジョイフル」(西本町)

庄原初のジョッピングセンター。昨年一〇月にリニューアルオープンしました。

■九一「楽楽座」(西本町)

三月に完成した楽楽座はまちなかに楽しみの場をつくらうというこで酒蔵を改装し、つくられました。音楽や映像、食等を楽しむことができます。

■九二「アーティストの手形」

国営備北丘陵公園を訪れたアーティストの手形。ドリカム・ミスチル・セツストックで訪れたアーティストの手形もあり、今後地域活性化に利用される予定です。

■九三「上野公園無料休憩所 紫水寮」

上野池湖畔にある倉田百三ゆかりの地にある無料休憩所。百三を偲び、お茶をいただくのも良。

■九四「市民ギャラリーアト多愛夢」

商店主の方が私財を投じて改装され、できた市民ギャラリーです。

■九五「絵本牧場 こんぼ」

緑あふれる牧場で動物たちといっしょのまにか心が元気になります。

■九六「ひまわりバス」

市内循環バス。百円で市内を循環できます。

■九七「のんき工房」(川北町)

自然の素材を使った作品は素晴らしい。のんきさんの手にかかれば全てが芸術品に変わる。

■九八「原さんの土鏡・土甕」

土地に根付いた、ほのぼのとした作風は庄原の誇りです。

■九九「県立広島大学」

平成元年開学の県立大学。産学官や地域のシンクタンクとしての存在大。また、県立広島大学の庄原キャンパスから見る夕日は美しい！

■一〇〇「庄原に対する皆さんの思い」